武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度４月号
統括校長　井内　潔
令和７年４月１０日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

http://musashimurayama.ed.jp/mmced4s/

新たな学びの一年へ

統括校長　井内　潔

令和７年度が始まりました。校庭の桜や木々の新芽、春の息吹が子供たちに新たなスタートを応援してくれています。お子様の進級・入学おめでとうございます。

村山学園の桜

今年度も、子供たちの教育に携わる者（学校・家庭・地域等）が共通の認識に立ち、子供たちへの指導・助言・支援に当たりますよう御協力をお願いします。教職員は「チーム村学」として地道に、前向きに努力し、意欲的に教育活動に取り組みます。

さて、昨年度から掲げている村山学園の「目指す児童・生徒像」を、私は子供たち、先生方、保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様に、いろいろな場面で言い続けてきました。

「村山学園が目指す児童・生徒像」
(1)自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子
(2)自分で考えることができる子
(3)自分で判断することができる子

特に(1)の「自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子」については、喫緊の課題です。今年度は、全校で基礎的・基本的な学力の定着及び学力向上の具体策を立て、取り組みます。

今後、生成ＡＩを含めて社会はどんどん変化していきます。純朴で素直に育った村山学園の子供たちが必要な学力を身に付け、世の中に出る時に困らないようにしたいと思っています。そして、「自ら学ぶ」ことを、子供たち、先生方、家庭の三者が前向きに取り組み実行することが何より大切です。宿題や復習などの振り返りの習慣付けに御協力ください。

また、以下は令和７年度の「学校経営方針」（一部簡略化）です。御覧ください。

「教育目標」
人にやさしく、自分に強く、英知を磨く　村山の子
「学校経営の具体策」
(1)人権尊重教育に基づき、児童・生徒のいじめ防止を図る。
(2)生命を尊重する心を育む道徳教育の推進を図る。
(3)「基礎的・基本的な学力の確実な定着と向上」を最重要課題とする。
　小学校４年生までの算数、国語の基礎的・基本的な学力（読み・書き・計算）の定着を徹底する。家庭学習の習慣付けを保護者と連携し、タブレットＰＣで家庭学習を行うのが当たり前になることを目指す。
(4)心身の健康推進、体力向上を図る。
(5)国際理解教育は、グローバル化に対応でき、国際社会で活躍できる人材としての素養を養う。日本語学級に通級する児童の日本語教育を推進する。
(6)特別な支援が必要な児童・生徒に「個に応じた」特別支援教育を組織的に推進する。
(7)安全・安心を基盤とした組織的な生活指導の推進と危機管理の徹底を図る。初期対応と報告・連絡・相談・確認を徹底し、課題は全教職員で共有する。
　学園手帳の「学校生活のきまり」を周知徹底する。規範意識を育成する。
(8)「デジタル学習基盤」つまり「ＧＩＧＡスクール構想による一人一台端末やクラウド環境等のデジタル学習」を積極的に有効活用する。情報モラル教育を行う。
(9)意図的・計画的なＯＪＴにより若手教員の育成、組織の教育力向上を図る。
(10)働き方改革を実効性あるものとして進め、教職員の意識改革にも取り組む。

今年度も、御支援・御協力よろしくお願いします。